

番

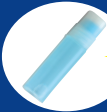
組

6年

名前

持ち長

- ◎薄くのばせて、教科書通りの作品にしやすい粘土
- ◎水として流すのに良いかたさのブルーの液体のり
- ◎4色の砂やラメは色水をつくれるビニール袋入り



「水の流れ」を表現するのにちょうど良いかたさのブルーの液体のり

キラキラしたきれいな色水をつくれる3色のラメ(白・黄・緑)と砂(青)



①ねんどをねる



包そう紙を開ける前に軽く四方をたたきつけ、ねんどをほぐす。中身を取り出しよくなる。

②形をつくる



「水」が流れるようすを想像して、上から下に流れやすいような作品を考えてつくる。

③よくかんそうさせる



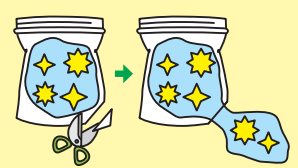
風通しが良く、直しゃ日光のあたらない屋内で良くかわかす。

④流す色水をつくる



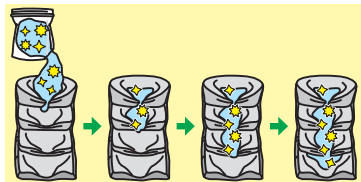
ラメや砂の入ったビニール袋に液体のりを入れてジッパーをしめる。中身をよく混ぜて4色の色水袋をつくる。(液体のりは1/4ずつ分けて使う)

⑤色水を流す準備



色水をしぼり出しやすいように袋の下の方に集める。袋の下のスミを少しはさみで切る。(穴が大きすぎると色水が一度にたくさんでるので注意しましょう)

⑥つくった色水を流す



つくった色水は白→黄→緑→砂(青)の順番で作品の上から流す。4種類の色水の流れを楽しもう。(つぶの大きい砂は後から流しても重さで下にしずみずみ) ※あわはようじなどでつぶしてください。水の流れを調節したい時は作品の向きを変えてみましょう。

⑦ニスをはめて仕上げる



のりが完全にかわいたらニスをはめて仕上げる。ニスをぬると色水がより水らしく見えます。

液体のりの成分：水性のり ねんどの成分：土ねんど
ラメの成分：ペット樹脂



- (青) × 4
- (黄) × 4
- (白) × 4
- (緑) × 4
- (白) × 4

材料

水の流れのよう

水の流れのよう



3色のキラキララメと色砂をブルーの液体のりと混ぜて水のように作品に流します!



袋から流れ出た色水は...

手も汚さずにらくらく水の流れがつけれます!

ニスを塗るとより水らしくなります!

薄くのばせて、焼き物のように固くなる粘土使用!



※作品にはニスを塗っています

きれいな「水の流れ」を体験して表現できます。

12月 学校の行事

水の流れのよう

